

## 第45回 京町家まちづくりファンド委員会 議事録

日 時：令和3年3月25日（木）午後3時00分から午後4時30分まで

場 所：京都市景観・まちづくりセンター ワークショップルーム2

（以下、敬称略）

出席委員：大場修／議長（オンライン出席）、島田昭彦（オンライン出席）、浅井國勝、  
田房夏波（オンライン出席）、中山雅永（オンライン出席）

欠席委員：深尾昌峰

京都市都市計画局 まち再生・創造推進室：木村祥三（オンライン出席）

オブザーバー：1名（オンライン出席）

事務局：宮川、西尾、西井、宮浦、長野／記録

議 題：令和3年度京町家まちづくりファンド改修助成事業について

報 告：令和3年度改修助成事業相談案件（非公開）

京町家まちづくりファンド改修助成事業の進捗状況について

京町家まちづくりファンド改修助成事業の普及啓発について

配布資料：次第、委員名簿、座席表

議案書

資 料 1 令和3年度京町家まちづくりファンド改修助成事業募集要項（案）

資 料 2 令和3年度京町家まちづくりファンド改修助成事業募集チラシ（案）

報告資料1 令和3年度改修助成事業相談案件

報告資料2 京町家まちづくりファンド改修助成事業の進捗状況について

報告資料3 令和3年度京町家まちづくりファンド普及啓発について

### ◆専務理事より挨拶

本日はご多忙な中、京町家まちづくりファンド委員会にご出席賜り御礼申し上げます。

京都市が京町家への助成を始めたことがきっかけとなり、京町家まちづくりファンドの助成対象を変更してから2年が経過した。令和元年度は2件、令和2年度は3件、計5件の事業が選定されており、それぞれ素晴らしい案件である。来年度以降の助成に対しても既に相談をいただいているので、今後に期待したい。

京町家まちづくりファンドのWEBサイトについて、完成から7年程が経過しており、リニューアルの時期を迎えている。ただのリニューアルではなく、寄附促進につながるようなものにしたと考えている。今年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、寄附額や寄附付き商品の売り上げも落ちているので、WEBサイトを通しての寄附拡大にも力を入れていきたい。

本日は議題を1件、報告を3件予定しており、皆様の活発なご議論をお願い申し上げます。

### ◆事務局より委員会開催について

本日の委員会は全委員6名中5名の方にご出席いただき、ご欠席の1名の委員からは委任状をお預かりしているため、ファンド規程による定足数を満たしており、決議できることを報告する。

## 議 題 令和3年度京町家まちづくりファンド改修助成事業について

### ◆議案の概要説明

事 務 局：資料1、2「令和3年度京町家まちづくりファンド改修助成事業の募集要項（案）・募集チラシ（案）」について、昨年度からの相違点に絞ってご説明する。募集要項・チラシ共に、昨年度からの変更は募集期間の年月日のみで、内容に関して変更はない。

議 長：従前通りの募集ということで、この原案の内容で承認する。

## 報告1 令和3年度改修助成事業について（非公開）

## 報告2 京町家まちづくりファンド改修助成事業の進捗状況について

### ◆報告案件の概要説明

事 務 局：〈議案書の資料を用い、各案件の進捗状況を説明〉

吉田神楽岡旧谷川住宅群については、前回の委員会にて、工事を予定している箇所の所有者である不動産業者から同意が得られていないとご報告したが、先日同意書を受領したとのことである。

## 報告3 令和3年度 京町家まちづくりファンド普及啓発について

### ◆報告案件の概要説明

- (1) 京町家まちづくりファンドWEBサイトリニューアル
- (2) 京町家まちづくりファンド報告会・見学会
- (3) KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭における広報
- (4) 工事進捗の発信

事 務 局：〈議案書の資料を用い、各報告案件を説明〉

報告案件(1)の京町家まちづくりファンドWEBサイトは、7年以上大きな更新がされていない状態であり、サイト経由での寄附もかなり少ない。どんな人が寄附者層となり得るのか等も含め、マーケティング調査から行っていく事業者を選定するためのプロポーザルを行い、受託者を選定した。令和3年8月末には公開予定としている。

### ◆意見交換

委 員 A：サイトリニューアルが完了するのは8月末とのことだが、次回8月中旬に開催予定のファンド委員会で、完成したものについて報告を受けることになるのか。

議 長：ファンドの今後の方向性を考える上でもとても重要なプロジェクトになると思う。委員会にも随時情報を共有してほしい。

事 務 局：その予定である。また、今後受託者と事業を進めていく中で、プロポーザル実施からご助言をいただいていた委員Bにも入っていただく予定であり、委員Dにも社会投資等の面でご助言をお願いしようと考えている。

委 員 B：今回の事業では、コンセプトの見直しもそうだが、誰に伝えるかということも非常に重要になってくる。WEBサイトのリニューアルという作業の前段階の部分を入念に考えていく必要がある。

専務理事：現状、WEBサイトからの寄附がほぼ0に近い状態であり、ファンドの寄附額は寄附付き

商品や窓口での寄附に頼っている状況である。WEBからの寄附の使いやすさの改善も含め、こちらの想いをいかにして伝えるかが重要だと思う。

委員 C：WEB サイトのリニューアル完了がゴールではなく、リニューアルされた後の取組も重要。WEBが素晴らしくリニューアルされたとしても、WEBを見ただけで寄附に結び付くにはハードルが高い。そのため、オンラインだけでなく、見学会やイベント等、寄附者層となりうる人々との複数の接点や情報発信の場を確保しておき、興味を持ってWEBを訪れてくれた方のために、寄附しやすい動線を確保しておくことがスムーズな寄附につながる。これらの点については、委員会の中で議論していくことで力になれるのではないか。

議長：サイトの運営について、8月以降も受託者が行うのか。

事務局：8月以降のサイト運営は当財団で行っていく。

議長：承知した。

委員 C：ファンドの助成対象が変わったことで、応募や相談件数等は変化しているか。

事務局：制度変更前は、募集期間以外には相談がない状態であったが、制度変更後、今回のように事前に相談に来ていただける案件は増えている。ただし、まちづくりに寄与する改修案件を対象としたことで、コンセプトが重要となってくるため、事前相談を密に行っていく必要がある。加えて、情報発信は、寄附者や地域の方々、専門家に向けて引き続き行っていきたいと考えている。

議長：CFのような手法は、ファンド事業と相性が合うか。

委員 B：合うと思う。上手く共感を得てもらえるようなストーリーを発信し、「自分ごと」として応援してもらえることが大事。興味を持ってもらうために、裾野をどう広げていくかに意識を向けていきたい。

議長：ファンドへの寄附は大きく分けて2種類考えられる。話題性のあるCF向きのプロジェクトへの寄附と、ファンドに興味を持ってくれた方から事業全体への寄附である。後者はある意味サポーターとも考えられるが、具体的にどのようにアプローチしていくのが難しい。このあたりの検討については、受託者にも期待したい。

委員 C：個別案件への寄附と、事業全体への寄附と、入口は2つあるが、この2つを連携していくことが重要。個別案件への寄附は、その瞬間だけ寄附は集まるが持続しない。CFからベーシックなサポーターを増やしていくことが、まちセンが安定した財源を確保していくことにもつながる。

委員 B：ファンドの活動自体のファンクラブ組織を作っていくようなイメージ。5年後、10年後にその組織をどの程度の規模にしていきたいか、目標を見据えておくべき。ファンドの活動自体が、皆さんの住んでいるまちを守っていくことにもつながる、ということを発信し、共感を得ていくことも重要。

議長：そのためには、まずファンドの取組を知ってもらわなければならない。令和元年度選定の五条坂なかにわ路地等は、まさに共感を得やすい案件。

委員 B：五条坂は見学会にも参加したが、このようなイベントへの参加者をもっと増やしていくようなゴール目標を持ちながら、WEBでの情報発信等を仕掛けていくべき。

議長：CFのリターンとしては、現物を送るというよりも、内部を見られる等の体験を提供す

る方が望ましい。

委員 B：その方が、先ほど委員 Cがおっしゃった、その瞬間だけの寄附ではなく、継続的な寄附につながりやすいと思う。

### **【参考】京町家まちづくりファンド普及の取組状況の報告**

〈事務局より資料をもとに概要説明〉

議長：五条坂なかにわ路地の記録集は、これまでのものからどのように変わったか。

事務局：これまでの記録集は A4×1 枚で作成しており、寄附者の方々に郵送し、ファイリングしていただく形としていた。今回の五条坂なかにわ路地は関係者も多く、コンセプトや設計等の面でも充実したものであったので、8 ページの冊子とし、デザインもリニューアルした。今後の助成案件については、個々の内容に応じたページ数としながらも、今回作成したものと統一感をもったデザインとしていく予定である。

議長：様々な視点や角度からの文章があり、写真もよく、充実した内容となっている。

事務局：費用面から考えると、毎回このような冊子とすることは困難だと思われるので、WEB 掲載を充実させて情報発信していきたい。

議長：学生にとっての教材としても非常によいものとなっているので、継続して、このレベルのものを蓄積して行ってほしい。

### **◆委員 C よりご挨拶**

〈今年度で任期終了となる委員 C よりご挨拶〉

### **◆事務局より閉会の挨拶**

専務理事：長時間に渡りご議論いただき、感謝申し上げます。また、2 年間ファンド委員として様々なご助言をいただいた委員 C にも御礼申し上げます。次回の委員会は 8 月の開催を予定しているが、先ほどの議論にもあったように、WEB サイトリニューアルの進捗については、随時委員会にもお知らせする形としたいので、引き続きご意見を賜りたい。

事務局：次回の委員会については、今年 8 月に開催予定とする。

以上を持って、第 4 5 回京町家まちづくりファンド委員会を終了する。